

今週のビルマのニュース
2010年3月19日【1011号】

【続報】発表された総選挙関連法をめぐる動き

【背景】軍政は先週、今年実施を予定する総選挙に関連する5つの法を発表した。立候補資格を認定する権限を持つ選挙管理委員会の委員17人が軍政により任命された。委員長は最高裁副長官。政党登録法の下では、有罪判決を受けた者は政党の党員にはなれず、国民民主連盟（NLD）は書記長のアウンサンスーチー氏など有罪判決を受けた党員を除名しなければ政党としての資格を失う。さらに、NLDを含めた既存の政党が存続するためには、3月8日から60日以内に選挙管理委員会に登録しなければならない。

・選挙関連法についてアウンサンスーチー氏は11日、「不当な法律に対し、国民や政治勢力は結束して対応しなければならない」と述べた（11日AFP）。NLDは29日に対応を決める予定（イラワディほか）。

岡田外相、NLDの置かれた立場に理解示す

・選挙関連法の発表にあたり、岡田外相は12日の会見で「総選挙が開かれたものになるかがミャンマーの将来を大きく左右するので、国際社会が受け入れることができる法律とその運用が望ましい。[選挙関連法の適用について、軍政の] 回答如何によっては、次の対応も考えていかななくてはならないかもしれない」と述べた。「次の対応」が具体的に何を指すのかについては言明を避けた（外務省会見記録）。

・外相はまた、NLDが書記長のアウンサンスーチー氏らを除名し、60日以内に登録しなければ政党として存続できなくなるという政党登録法の規定について「[アウンサンスーチー氏が拘束されたまま] NLDに判断を迫るとするのは、なかなか困難を強いることにもなる」と懸念を示した（同上）。

軍政、1990年総選挙の結果を正式に無効化

・軍政は11日、国営紙に声明を出し、選挙関連法の制定に伴い、1990年に行われた総選挙の結果を無効にすると宣言した（11日ロイターほか）。1990年の総選挙ではNLDが議席の約8割を獲得した。NLDは1990年の選挙結果を何らかの形で認めるよう軍政に求めてきたが、拒否されたことになる。

米国籍の民主化運動家が解放される

・軍政は18日、ビルマ出身で米国籍を持つ民主化運動家ニーニーアウン氏を解放した。氏は昨年9月、ビルマ到着時に空港で逮捕され、書類偽造の有罪判

決を受けて刑務所に収容されていた。氏は解放後、強制退去処分となり米国に帰国中（18日BBCほか）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、15～19日 15～16時）

・日本ビルマ救援センター「ビルマ座談会」講師：久保忠行氏（ビルマの政治、経済、文化などについて）（大阪ボランティアセンター、19日 19時～）

・京都自由学校公開講座「ロヒンギャー難民について」講師：フォトジャーナリスト宇田有三（多目的カフェ「かぜのね」、21日 12時半～）★要申込

・「逃げ続ける難民たちの声ータイ・ビルマ国境訪問報告会」報告者：ベネディクト・ロジャーズ、秋元由紀（文京区区民会議室、31日 18時半～）

・シャンティ国際ボランティア会（SVA）ミャンマー（ビルマ）難民支援事業報告会（JICA地球ひろば、4月1日 19時～）

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会 講師：ベネディクト・ロジャーズ（大阪ボランティアセンター、4月2日 18時半～）

・渋谷敦志写真展「明日があるから 国境に生きるビルマ難民は今」（コニカミノルタプラザ、4月3日～14日 10時半～19時。最終日は15時まで）。

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165